

2016年度第3回日本バレーボール学会理事会

1. 日時：2016年11月5日（土）13：00～
2. 場所：慶應義塾大学 日吉キャンパス スポーツ棟（体育研究所）2階 共同研究室
3. 出席者予定者：河合学会長，黒川貞生副会長，石手靖理事長，廣紀江各監事，内田和寿，小林海，高根信吾，田中博史，布村忠弘，湯澤芳貴，横矢勇一各理事
4. 出席：11名 欠席：19名（内無連絡3名） 委任状：16名
5. 報告
 - ① 第21回大会決算報告（実行委員長）
 - ② 2016バレーボールミーティング報告（実行委員長）
 - ③ 次年度研究補助費募集・審査日程確認（企画委員会）
 - ④ 査読規程について（持ち回り会議結果報告）（総務委員会）
 - ⑤ 各委員会関係
 - （1）編集委員会
 - （2）企画委員会
 - （3）渉外委員会
 - （4）総務委員会
6. 議題：
 - ① 第22回大会準備進捗状況について（実行委員長）
 - ② 2017バレーボールミーティング開催について（企画委員会）
 - ③ 「バレーボールの歴史」（仮称）出版WGについて（会長）
 - ④ バレーボール指導教本の作成について（会長）
 - ⑤ 支部制導入（研究大会及びミーティング開催地選考利用など）について（企画委員会）
 - ⑥ バレーボール研究「J-STAGE」への登録について
 - ⑦ その他

*次回予定：

<資料1>

2016年度バレーボールミーティング 収支報告

【収入の部】

項目	金額	摘要
ミーティング補助費	¥200,000	本部2016年度予算
ミーティング参加費	¥20,000	学会員（事前登録）：1,000円 × 20名
	¥0	学会員（当日登録）：1,500円 × 0名
	¥12,000	非会員（事前登録）：1,500円 × 8名
	¥0	非会員（当日登録）：2,000円 × 0名
	¥1,500	非会員（当日登録・学生）：500円 × 3名
情報交換会費	¥28,000	参加希望者より徴収：2,000円 × 14名
広告収入	¥60,000	広告協賛金（クレーマージャパン、岡崎建設、ジャパンライム、VolleyInAction、VPM）
合計	¥321,500	

【支出の部】

項目	金額	摘要
①講師費	¥35,000	講師謝礼（オクム氏）：20,000円×1名、報告者謝礼：5,000円×3名
②講師旅費	¥39,240	オクム氏宿泊費7,500円、交通費（大津～京都、京都～博多、ホテル～会場）、打合せ交通費補助
③学生スタッフ謝礼	¥20,000	前日・当日業務の京都外国語大学学生3名に包括：20,000円
④モデルチーム謝礼	¥24,500	モデルチーム（南陽高校）：5,000円 交通費1,500円×（生徒12名+先生1名）
⑤プログラム印刷費	¥49,032	ミーティングプログラム印刷代（600部）
⑥通信費	¥8,428	プログラム、書類郵送、学会備品郵送、広告協賛企業への諸連絡、振込手数料
⑦事務費、雑費	¥14,702	文具、クリアファイル、印刷用紙、クーラーボックス、プリンタインク
⑧食費（弁当・飲料）	¥21,850	弁当：650円×17個、ドリンク108円×100本
⑨交通費（当日）	¥22,460	実行委員 当日交通費
⑩交通費（事前準備）	¥8,500	事前実行委員会に関わる交通費
⑪情報交換会費	¥75,000	講師3名、実行委員7名、学生スタッフ3名分は補填 27名のセットプラン
小計	¥318,712	
余剰金（収入-支出）	¥2,788	
合計	¥321,500	

以上ご報告申し上げます

2016年8月31日 実行委員長 内田 和寿

証拠書類等を監査の結果、以上の報告に相違ないことを報告いたします。

監査： 柏 赤 塚 雄

監査： 廣 記 江



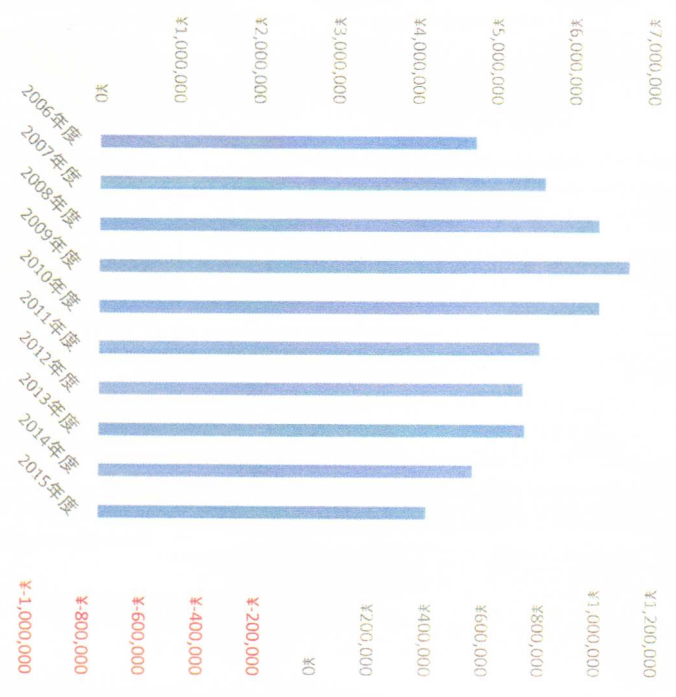
<2次会議>

学大会 巻 年度	NL14 2006年度	NL15 2007年度	NL16 2008年度	NL17 2009年度	NL18 2010年度	17回 14	18回 15	19回 16	20回 17	21回 18	2016年度
前年度繰越金	¥2,602,941	¥3,603,558	¥4,440,484	¥4,909,885	¥4,462,055	¥3,947,162	¥3,643,790	¥3,421,023	¥2,773,187	¥2,360,576	¥1,621,448
収入	¥4,751,233	¥5,637,488	¥6,322,977	¥6,708,670	¥6,330,967	¥5,572,740	¥5,363,838	¥5,387,070	¥4,727,284	¥4,131,880	
単年度収入	¥2,148,292	¥2,033,930	¥1,882,493	¥1,798,785	¥1,868,912	¥1,625,578	¥1,720,048	¥1,966,047	¥1,954,097	¥1,771,304	
次年度繰越金	¥3,594,808	¥4,440,484	¥4,909,885	¥4,462,055	¥4,042,379	¥3,643,790	¥3,421,023	¥2,773,187	¥2,360,576	¥1,621,448	
支出	¥4,751,233	¥5,637,488	¥6,322,977	¥6,708,670	¥6,330,967	¥5,572,740	¥5,363,838	¥5,387,070	¥4,727,284	¥4,131,880	
単年度支出	¥1,156,425	¥1,197,004	¥1,413,092	¥2,246,615	¥2,288,588	¥1,928,950	¥1,942,815	¥2,613,883	¥2,366,708	¥2,510,432	
単年度収支	¥991,867	¥836,926	¥469,401	¥-447,830	¥-419,676	¥-303,372	¥-222,767	¥-647,836	¥-412,611	¥-739,128	
誤差	¥8,750	¥0	¥0	¥0	¥-95,217	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	

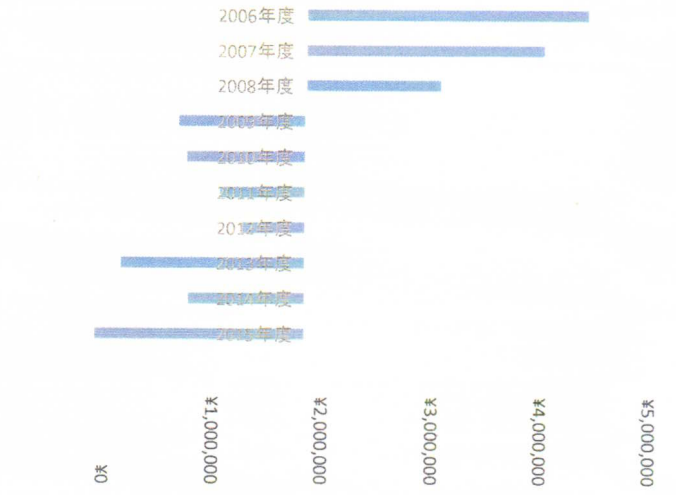
← ③繰越金推移
← ①予算規模推移

← ②単年度収支推移
こ3年間の平均60万円の赤字
このままだと2018年度に赤字

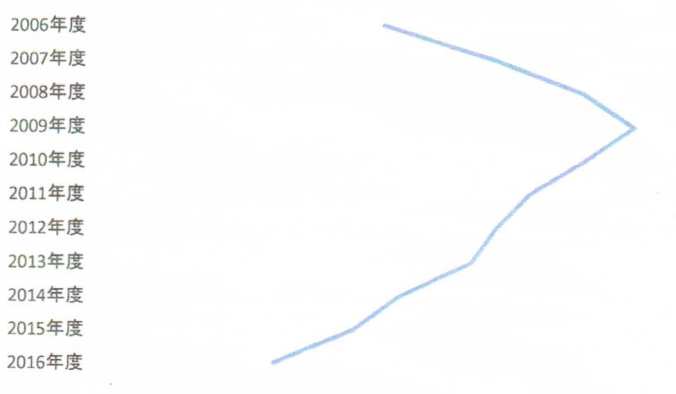
① 予算規模推移



② 単年度収支推移



③ 繰越金推移



日本バレーボール学会 第22回大会のご案内

期日：2017年3月11日～12日

会場：国士舘大学世田谷キャンパス

大会実行委員長：横沢 民男氏（国士舘大学）

テーマ：『2016 リオ五輪を総括し、2020 東京五輪を考える』（仮題）

第1日 2017年3月11日（土）

12：30～ <受付開始> （国士舘大学世田谷キャンパス）

13：00～13：15 <開会の挨拶>

横沢 民男氏（日本バレーボール学会第22回大会実行委員長）

河合 学氏（日本バレーボール学会会長）

13：15～14：00 <特別講演>

『テーマ』：「建学の精神」と大学の社会的責任

—国士舘 創立100周年を迎えて—

講師：佐藤 圭一氏（国士舘大学学長）

14：15～15：15 <基調講演>

『テーマ』：JVA2050年構想

講師：木村憲治氏（公益財団法人日本バレーボール協会会長）

15：30～17：30 <シンポジウム>

『テーマ』：2016 リオ五輪を総括し、2020 東京五輪を考える（仮題）

シンポジスト：鳥羽賢二氏

他2～3名に交渉中

18：00～20：00 <懇親会> 梅ヶ丘校舎34号館10階スカイラウンジ

第2日 2017年3月12日（日）

9：00～ <受付開始> メイプルセンチュリーホール入口

日本バレーボール学会 2017 バレーボールミーティング (要項案)

コンセプト：技術練習は選手自身の試行錯誤によって成り立ち、それをいかに有効に演出できるかが指導者の役目であると考えられます。戦術的な面も、相手に対してどんな攻撃・守備が有効か、実践・検証・修正の試行錯誤から選択していくべきでしょう。こういった試行錯誤をデザインしていくことは「工学=エンジニアリング」そのものであり、目新しいことは何もありませんが、技術練習や戦術の選択を「エンジニアリング・アプローチ」で再構築してみることによって、技術・戦術の練習はどうあるべきか、指導者が果たすべき役割は何かを明らかにできるのではないかと考え、提案します。

テーマ：「エンジニアリング・アプローチによるバレーボールの技術・戦術指導」

－工学の立場から指導法の再構築を図る－

主催：日本バレーボール学会

期日：2017年7月29日(土) 10:00～15:40 (その後情報交換会)

会場：富山大学

シンポジウム

講師：布村忠弘(富山大学)、三村泰成(鶴岡工業高等専門学校)、縄田亮太(愛知教育大学)

- ・なぜエンジニアリング・アプローチなのか
- ・バレーボールの動作原理を力学的に説明する
- ・つかむべき感覚と、その感覚をつかむために必要な試行錯誤とは
- ・有効な試行錯誤のために整えなければならない環境とは
- ・指導者の果たすべき役割
- ・戦術における試行錯誤

オンコートレクチャー (場所 富山大学第3体育館)

講師：布村忠弘(富山大学)、三村泰成(鶴岡工業高等専門学校)、縄田亮太(愛知教育大学)

- ・「試行錯誤：体に答を選んでもらう」を体験する
- ・「セットのバイオメカニクス」(学会第21回大会フォーラムにおいて縄田発表)に基づいたセット練習(および、動作原理から導き出される練習環境)
- ・状況に応じた適切な動作の選択
- ・指導者が観るべきところ

備考：(シンポジウムおよび) オンコートレクチャーの動画をDVD化し、販売を検討する。

シンポジウム・オンコートレクチャーの構成および会場については変更する可能性があります。

■ 参加費

カテゴリー	参加費(事前登録)	参加費(当日登録)
会員(一般)	1000 円	1500 円
会員(学生)	無料	無料
非会員(一般)	1500 円	2000 円
非会員(学生)	500 円	500 円

■参加申込方法

■情報交換会

ミーティング終了後、講師を交えての情報交換会を開催いたします。会費は会員・非会員ともに 4,000 円です。参加費と併せてご入金下さい。当日参加も可能ですが、準備の都合上、極力事前のお手続きをお願いいたします。

■2017 バレーボールミーティング実行委員会事務局

担当：(富山大学)

〒

TEL/FAX：

E-mail：

日本バレーボール学会第3回理事会資料

支部制導入について

企画委員会

日本バレーボール学会は、2015年に創立20周年を迎え、バレーボールに関する科学研究の分野で成果を上げてきました。

しかし、一時は500名を数えた会員数は400名を割る見込みで、研究大会・ミーティングへの参加者も減少傾向にあります。これらの課題を改善するために、SNSを活用した情報発信や、研究大会における日本体育協会指導者養成事業との共催といった取り組みが為されてきました。

今後、より多くの会員が積極的に参加して学会全体の活性化を図る方策として、「支部制」の導入を提案いたしますので、ご検討をお願いします。

1. 支部制の趣旨

関東に偏っているくらいがある学会活動を地方においても活発にし、もって学会全体の活性化を図るための方策として支部制を導入する。

2. 支部について(現会員数)

「北海道・東北(30)」「関東(183)」「北信越(13)」「東海(56)」「関西(55)」「中国・四国(26)」「九州(38)」の7支部とする。 16 1 3 2 0 1

3. 支部活動における学会活性化の役割

- 1) 支部におけるシンポジウム、セミナー、研究会などの企画・運営。
- 2) 学会ミーティングを各支部が持ち回りで担当する。
- 3) 研究大会は関東、東海、関西で担当する。

4. 支部長について

「支部の取りまとめ」と「支部と理事会の橋渡し」のために、各支部長は学会理事が務める。選挙によって選出された理事が支部にいない場合は、会長推薦理事を各支部に任命する。

以上